

AIアクセラレータ

— 人工知能デバイスの新展開 —

2021.9.10 (金)

9:00 - 12:45

世界でAIハードウェア開発にしのぎを削る中、実用に資する一形態として現在のノイマン型プロセッサを支援するAIチップを「AIアクセラレータ」と位置づけ、高度なAI機能の実現に向けて材料、デバイス、回路、システム各分野で注目されている研究者をお招きし、今後のAIチップ研究開発の方向性や具現化の課題を議論し共有します。

招待講演 (敬称略・順不同)

- ・ 秋永広幸 (AIST) AIアクセラレータ開発における新材料研究の役割
- ・ 岡崎篤也 (日本IBM) 不揮発性メモリデバイスを用いたニューラルネットワーク集積回路
- ・ 高橋宏知 (東大) 物理リザバーとしての脳組織の情報処理能力
- ・ 内田淳史 (埼玉大) 複雑系フォトンクスを用いた光リザーバコンピューティングと光意思決定
- ・ 高木信一 (東大) 強誘電体デバイスを用いたリザーバコンピューティング
- ・ 田中悠一郎, 田向権, 立野勝巳, 田中啓文, 森江隆 (九工大)
海馬・扁桃体・前頭前野の機能を統合した脳型AIハードウェア
- ・ 丸亀孝生 (東芝) 脳型アナログ回路とシナプス素子のAIチップ応用

世話人 葛西誠也 (北大)・馬場寿夫 (JST)

応用物理学会
FS AIエレクトロニクス

後援：科学技術振興機構(JST)